

2007年11月5日

プレスリリース

株式会社ネットプレナーが特許出願

質問に答えるだけで誰でも簡単に自分史と家計図が作れる、
同社サービス「自分史スタイル」に係わるビジネスモデルの特許を出願！

株式会社ネットプレナー（本社：東京都新宿区、代表：石井鉄生）は2007年11月5日、質問に答えるだけで誰でも簡単に自分史と家計図が作れるサービスに係る特許を出願した（特願 2007-287384 号）。

この特許は、同社が2008年6月1日にサービスを開始するSNSサイト「自分史スタイル」内の技術。同サービスには、自分史作成時、「ユーザーの年齢に応じた質問を抽出する機能」や、様々な質問に対する回答が自然な文章にまとまる「自動自然言語解析機能」などが含まれる。これらの技術により、ユーザーがより簡単に、内容の濃い自分史を書けるようになる。

「自分史スタイル」の特徴は、自身で作成した自分史を通じてコミュニケーションする点だ。自分史に限らず、企業史・ペット史・地域史・人物史・日本史など、歴史をキーワードとした様々な使い方を想定している。文字だけではなく写真や動画、そして家計図なども掲載することができ、よりオリジナリティのある自分史を作成することができる。

また、自分史を読み合うだけでなく、書籍として発刊したり、アフィリエイト機能を利用したりしてユーザーが収入を得ることもできる。

同社特有の機能について代表石井氏は、「Q&Aに答えるだけで、あっという間に自分史が書けます。挫折知らず。そして、その自分史は半永久的に残すことができますので、100年後に子孫が閲覧しているかもしれません。もちろん写真掲載も可能。公開範囲を親族・友人・知人・内部・外部と段階ごとに設定できるので、ユーザーの方に安心して『生きた証』を残していただきたいですね」と述べた。

また、「自分史、ノウハウ、そして画像集等をデジタルコンテンツとして販売できる機能を設けました。これにより、ユーザーの新たな収入源が確保でき、また、高いノウハウを後世へ伝えることを可能にします」と話す。また、この機能は「自分史スタイル」内だけでなく外部での販売も可能となっている。限られた空間ではないため、各ユーザーの開けた市場が期待できそうだ。

さらに、「同サービスは、ユーザーが自分史を書く上で参考となる歴史年表を編集画面上に表示します。画面左側にはその年に流行した音楽、書籍、そしてスポーツなどが、画面右側にはその年のできごとが、それぞれ表示されます。これによって、ユーザーの方が楽しく昔を思い出しながら自分史を書いていただけたら幸いです」とのこと。

独自の機能を複数持っている「自分史スタイル」は、団塊世代はもちろん、そのジュニア世代にまで幅広い世代をターゲットとしている。「多くの人に楽しんでもらえるよう、サービスを展開していきたい」と、サービスの充実に力を注ぐ構えも示している。

株式会社ネットプレナー

<http://netpreneur.co.jp/>

自分史スタイル

<http://jibunshi-style.jp/>